

神奈川県地域女性活躍推進交付金事業実施計画書

市町村名:平塚市

1. 事業名	ひらつか女性活躍プロジェクト							
2. 実施期間	平成30年8月1日 ～ 平成31年3月31日							
3. 女性活躍推進法に基づく 推進計画策定時期 (策定予定時期)	平成29年2月 (策定済・策定予定)			計画期間(予定)		H29年度 ～ H35年度		
4. 地域の実情と課題	平成27年度に実施した、男女共同参画に関する市民意識調査では、自分のワーク・ライフ・バランスについて、希望では約5割が「仕事、家庭、地域生活・個人の生活をともに優先」、「仕事と家庭生活を優先」と回答したが、現実では約3割と差が大きい。 男女別、20～50代の年代別で見ると、女性は現実では約4割が「家庭を優先」で最も高い。20代は「仕事を優先」が最も高く「家庭を優先」は約1割。30～50代は「家庭を優先」が最も高いが、その中でも40代が41.7%で最も高い。50代になると、「家庭」と「仕事」又は「地域・個人生活」を両立、又は三立している人が30～40代よりも増えている。 女性の希望では、どの年代を見ても5割を超えて「仕事」と「家庭」又は「地域・個人生活」を両立、三立を希望。「家庭を優先」のみを希望するのは、30代の約25%をピークとして下がっていく。 男性の現実では「仕事を優先」と「仕事、家庭を優先」が共に27%だが、20代は「仕事を優先」が約4割と年代別で見ても最も高く、「仕事と家庭」は5%と最も低い。30代～50代は「仕事、家庭を優先」が約4割で最も高く、特に30代は、「仕事を優先」と「仕事と家庭を優先」に10ポイント以上差がある。男性の希望では、約5割が「仕事と家庭」又は「仕事、家庭、地域・個人生活」を優先したいと回答。一方、「仕事を優先」を希望するのは5%以下。 また、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加するために必要なこととしては、5～7割の人が「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」「労働時間短縮や休暇を取りやすくすることで仕事以外の時間をより多くもてるようにすること」「男性が家事などを行うことに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」と回答。 ワーク・ライフ・バランスについては、20代と30代～40代の子育て世代では現実、希望共に異なっている。30代～40代男性は「仕事優先」からの脱却を希望している、女性の「家庭生活優先」は必ずしも希望ではないことから、男女ともに現実と理想のギャップを抱えていることが分かる。ただ、男性は「仕事優先」よりも「仕事と家庭優先」している人も多いにもかかわらず、女性の「家庭」以外の両立などがかなえられていないことから、「家庭優先」とは何か、男女での考え方の差異があるのではないかと。 平成29年度からスタートした男女共同参画計画では、男性の家事、育児、介護への参加促進として、男性自らが働き方の意識改革ができるよう、スポーツ観戦時の入場口でのチラン配布、事業所におけるイクボスの推進に向けて「平塚市イクボス宣言企業登録制度」の創設をし、イクボス宣言をととしての働き方改革の促進、女性活躍の促進をしている。							
5. 事業の趣旨・目的	現実の「家庭優先の生活」から、希望する「仕事、家庭、地域・個人の生活の調和が取れた生活」ができる女性を増やすため、男性の家事・育児参画時間が増えるよう、子育て世代の男性向けの家事・育児の連続講座を開催し、男性が家事・育児に参画するきっかけを作る。 男性の家事・育児参画についての講演を夫婦で共に聞くことで、話題の共通項を作り、夫婦の話し合いのきっかけとする。男性が家事・育児に参加しやすく、また夫婦間での意識の差に気づいたり、お互いの譲歩などを考えるきっかけとなることで、円滑なコミュニケーションの後押しをする。 男性の「仕事優先の生活」から、「仕事、家庭」「仕事、家庭、地域・個人の生活の調和が取れた生活」ができる男性を増やすため、事業所に向けイクボス宣言を広め、男女ともに働きやすい環境づくりを進める事業所が増えるよう、啓発をする。							
6. 事業目標・重要業績評価 指標(KPI) (全体)		目標・KPI	目標値(時点)		現状値(時点)			
	①平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	6歳未満の子どもを育てている夫婦世帯における、夫の家事参加時間(アウトカム)	1日あたり 150分	(H32年度)	1日あたり 67分	(H23年度)		
	②平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)(※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)	市のイベントやスポーツ観戦などの場で、リーフレットを配布する(アウトプット)			1,203枚	(H30.1末)		
	③事業目標(全体)	男性の家事育児講座の参加者数(アウトプット)	30人	(H30年度-講座終了時)	なし	()		
		平塚市イクボス登録企業制度の登録者数(アウトカム)	17社	(H31.3末)	12社	(H30.1末)		
④事業KPI(全体)		企業へ参加の協力を依頼する(アウトプット)			20社	(H30.8)		
		企業を戸別訪問し、イクボス宣言の促し、登録の協力を呼びかける(アウトプット)			20社	(H31.3)		
7. 事業内容	「子育てパパの家事・育児応援事業」 ・子育て世代の父親を対象にした、家事や育児に参加するきっかけとなる連続講座を開催。 ・夫婦を対象にした、上記男性講座と連続性を持った、夫婦のコミュニケーションの潤滑油となる子育て講演会を開催。 ・事業所に対し、子育て世代の父親が家事・育児に参加する時間が増えるよう、長時間労働などの働き方を見直すきっかけとなる、イクボス宣言を広めるため、事業所に向けたイクボスシンポジウムを開催する。 ・イクボス宣言をし、平塚市イクボス宣言企業登録制度に登録することで、子育てパパを応援する事業所、働きやすい事業所であることを広く一般に周知・PRするためのグッズとして、ステッカーを作成し、登録企業に配付する。							
8. 事業の実施により 期待される効果	参加者の男性の家事・育児参加意識の向上							
9. 事業効果の検証及び 今後の課題の整理方法	参加者の満足度(講座アンケート)、家事参加時間の増加(講座受講後日アンケート)							
10. 事業の実施体制	連携体制の名称	ひらつか男女共同参画推進協議会	女性活躍推進法に基づく協議会の設置状況					
			設置の有無	有	設置(公表)時期	H29.6.1	※連携体制が、法に基づく協議会の場合「○」を選択	○
	構成団体	平塚商工会議所(経済団体)、平塚市工業会連合会(事業主団体)、西湘地域労働者福祉協議会(労働団体)、平塚市地域婦人団体連絡会(地域活動団体)、平塚商工会議所女性会(女性経営者団体)、平塚青年会議所(若者経営者団体)、公募市民						
	各構成団体の主な連携内容	事業企画・検討、団体を通じた事業周知・広報、事業後の検証						
他の地方公共団体との連携		磯町、二宮町 連携方法:広報、事業実施内容、検証結果の共有						